

合併20周年を迎えて



町民の皆さまへ感謝

本年、川根本町は合併20周年という節目を迎えました。
中川根町と本川根町の合併からこれまで、本町は台風などによる災害や新型コロナウイルスの感染拡大など、特に近年はさまざまな困難に見舞われました。そのような状況の中でも、町民の皆さまの一体となったご協力とご尽力により、無事に合併20周年を迎えることができました。
この20年間、地域の皆さまが協力し支え合ってきたことが、川根本町の発展に大きく貢献しています。今後も、皆さまの声を大切にしながら、さらなる地域の振興と発展に向けて努力してまいります。引き続き、皆さまの町政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆安心・安全のまちづくり

令和4年台風第15号は、本町に甚大な被害をもたらしました。被災した箇所もほぼ復旧しておりますが、依然として対応が必要な箇所が残っています。今後も、各地で発生する災害に対して、安心・安全を確保するために、ハード面のインフラ整備や、ソフト面の防災対策強化を一体的に進めてまいります。

特に孤立集落への物資輸送が一層困難であることが浮き彫りとなり、この課題に対して、ドローンによる物資輸送や医薬品の定期配送事業を積極的に展開しています。こうした最先端技術を活用することで、災害時だけでなく、平常時でも高齢化が進む本町の買い物困難者問題の解決を目指します。

教育面においては、令和6年に義務教育学校2校が開校しました。1年生から9年生まで一貫して教育を行うことで、子どもたちが自分の目標や将来の進路に向けて、継続的に考えることができる環境となりました。今後も、安心して子どもたちの成長を見守っていただけるまちづくりを進めてまいります。

◆世界に誇る地域資源を育む

全国茶品評会や静岡県茶品評会で高い評価を受けた川根茶を使用したポトルドティーが、令和5年に広島県で開催されたG7サミットで各国首脳へ振る舞われました。さらに、令和7年度全国茶品評会普通煎茶4キロの部において、本町が通算17回目の産地賞を受賞し、品質の高さが再認識されました。

また近年、抹茶が世界的に注目を集めるなか、川根茶の海外需要も着実に増加しています。川根茶をグローバルブランドへと育てるため、今後もさまざまな事業を展開してまいります。

他方で、令和4年に「徳山の盆踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産へ登録されました。伝統を守り継いできた保存会や地区の皆さまの努力と誇りが評価された結果です。
今後も、町の豊かな自然や自然環境に育まれた生活文化を国内外に広く発信し、訪れる方々にさまざまな体験を通して「癒やし」や「やすらぎ」を感じていただけるプログラムの充実を目指してまいります。

◆協働でつくる町の未来

「町民が安心して暮らせる環境づくり」、「町民の安全な暮らしを守る」、「未来・創造をつなげる町」という三つの重要施策のもと、皆さまとの協働・連携により持続的に栄える川根本町を創っていきたいと思います。今後も町民の皆さまと共に全力で取り組み、誰もが安心・安全で豊かに暮らし、未来を創造していくことができるまちづくりの実現に向けてまい進してまいります。

川根本町長 **園田 靖邦**



これからは**笑顔と活力**に満ちた川根本町を共に築いていきましょう